

令和 8 年度 通信教育実施計画

教科	科目	単位数	履修上の留意点
数学	数学B（後期）	2	・ 数学 I を履修した生徒
指導目標	数学的な素養を広げ、さまざまな分野と関連する数学の知識や技能を活用して問題を数学的に考える力を養うため、「数学と社会生活」や「数列」について学ぶ。学習を通して数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動に取り組む中で、数学的に考える資質と能力育む。		
教科書		副教材等	添削指導 面接指導
新 高校の数学B（数研出版）		なし	6 回 最低 2 時間
メディア視聴減免実施の有無		☐ 実施している ☒ 実施していない	
メディア減免 視聴メディア及び視聴日程		メディア減免報告課題提出締切	
レポート（学習報告書）			
回	学習内容	提出期限	
1	・ 第3章 数学と社会生活（教科書 82～93ページ） 1. ごみの量の推定、2. 自転車シェアリング、3. 電気料金と省エネルギー	唐月Ⅰ 10/21 佐月Ⅱ 10/28	
2	・ 第1章 数列（教科書 8～12ページ） 1. 数列、2. 等差数列（一般項）	唐月Ⅰ 11/25 佐月Ⅱ 12/ 2	
3	・ 第1章 数列（教科書 12～14ページ） 2. 等差数列（和）、自然数の和	唐月Ⅰ 11/25 佐月Ⅱ 12/ 2	
4	・ 第1章 数列（教科書 16～18ページ） 3. 等比数列（一般項）	唐月Ⅰ 12/16 佐月Ⅱ 12/23	
5	・ 第1章 数列（教科書 18～20, 34, 35ページ） 3. 等比数列（和）、第2節 漸化式と数学的帰納法 1. 漸化式と一般項	唐月Ⅰ 12/16 佐月Ⅱ 12/23	
6	・ 第1章 数列（教科書 24～31ページ） 5. 和の記号 Σ 、6. 階差数列	唐月Ⅰ 1/ 6 佐月Ⅱ 1/27	
7		/	
8		/	
9		/	
10		/	
11		/	
12		/	

スクーリング（面接指導）		
月	学習内容	実施日
10月	日常生活や社会生活に見られる身近な事象を題材として、数学的に考察する力を育成し、数学を活用して課題を解決しようとする態度を養うとともに、数学の有用性を理解する。	唐津 10/ 4 月Ⅰ 10/ 5 佐賀 10/11 月Ⅱ 10/12
11月	等差数列の一般項および和の公式について理解し、学習資料や課題を基に自ら学習を進めながら、数の並びに含まれる規則性を数式で表現し、必要な数量を適切に求める力を養う。	唐津 11/ 8 月Ⅰ 11/ 9 佐賀 11/15 月Ⅱ 11/16
12月	等比数列の一般項および和の公式について理解し、学習資料や課題を基に自ら学習を進めながら、割合による数量の変化を数式で表現し、必要な数量を適切に求める力を養う。	唐津 11/29 月Ⅰ 11/30 佐賀 12/ 6 月Ⅱ 12/ 7
1月	Σ の公式の計算および階差数列の考え方を活用して課題に取り組むことで、数列の差や和の関係に着目し、学習内容を主体的に整理しながら計画的に問題解決を図る態度を育成する。	唐津 12/20 月Ⅰ 12/21 佐賀 1/10 月Ⅱ 1/11
試験		
前期	試験範囲	実施日
後期	・ リポート（学習報告書）第1回～第6回 ・ 教科書 第1章 数列 8～20、24～31、34、35ページ 第3章 数学と社会生活 82～93ページ	唐津 1/24 月Ⅰ 1/25 佐賀 1/31 月Ⅱ 2/ 1
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準		
評価は、次の3つの観点について、観点ごとに3段階（A，B，C）で行う 「知識・技能」：テスト・レポート 「思考・判断・表現」：テスト・レポート 「主体的に学習に取り組む態度」：レポート		
その他		